

まちがいさがし クイズ



左右の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけて
ください。

とうふねこ座：市川雅子 画

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え
(右の絵に○をつける)・②住所・
③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電
話番号・⑥広報紙の感想、ご意見
などを書いて応募してください。
なお、当選者のお名前を広報がま
ごおり5月号に掲載しますので、
ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17-1
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

3月15日(金)

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選
で10人の方にクオカードもしくは
ラグーナの湯無料利用券をプ
レゼントします。なお、賞品は5
月初旬に郵送します。



「幽霊の片袖」(西浦町)

明治の終わりごろ、橋田に一人のおばあさんがあった。
ある時からおばあさんの家では奇妙なことが起き始め
た。人気がない部屋から火が出てボヤ騒ぎがあったり、
家族が訳の分からぬ病にかかって数日寝込んだり、誰も
いないはずの部屋から人の話し声が聞こえたり、どこか
らかじりと見つめられていたような気配を感じたり……
ある日旅の行者が橋田にやって来た。
おばあさんは、「行者様、うちに幽霊が憑(つ)いて困
ります」
行者は、「あい分かった。幽霊を確認するために1週間こ
の家で居をしなければならん」
数日後、行をしてる行者の隣に青白い瘦(や)せた男が
現れた。時々ジジッと体がふるえる。
「行者様、私はこの家の新家の主人です。新家は長い事
空き家になっておいて、仏壇を拜むもんがあらんので
す。苦しくてたまいません。念仏をあげてください」
ジジッ

今度はオドオドした女が現れて来た。

「私はこの男の妻です。家が貧しくて身売りされたこ
ろを夫に身受けしてもらいましたが、死ぬまで肩身の狭
い思いをしませんでした。でも死んでも辛くて……本家
のおばあさんにとりついて病気にしてみたり、火を出し
たりしましたが、誰も気づいてくれなくて……ジジッ
女の後ろに若い男が立っている。
「おいらはバカな息子でした。家にも面白くない
てテキトーに家を飛び出てさあ、ふらふらしているうち
風の便りに親が死んだ事を聞いて帰る旅の空のもと
行き倒れになってさあ……悲しすぎるよ……助けて……」
「あい分かった。あなた方を救えるのは身内の者じゃ。
ウーム、本家の人たちにあなた方の事を分かってもらう
にはどうしたら良いか？」行者は3人に尋ねた。
「新家の仏壇のひきだしに私のこの片袖を入れたおけば
気が付いてくれると思うのです」と父親が答えた。
行者はおばあさんと家族に幽霊の話の説明し一緒に新
家へ行った。荒れ放題の家の片隅にクモの巣だらけの仏
壇があった。みんなが見ている中、ひきだしを開けると、
黒っぽい片袖が入っていた！

その後、本家の人たちは行者に頼みきちんと法要をし
た。それ以後幽霊は現れなくなったそうだ。
これで肩の荷が下りました。思えば私も大変だった
が、あの人も長い事ずっと苦しんでおったのだらう。
これからもお施餓鬼(せがき)をあげてお参りしまし
ょう。おばあさんは優しい目をした。

幽霊の片袖はその後、岡崎荒井山九品院へほんいん
に納められました。



◆1月号の答え

1月号クイズまちがいさがし
(吹上神明社)の当選者
応募総数71通
正解者68人
当選者 敬称略・50音順
竹谷町 市川ツヤ
金平町 市川美智子
形原町 大竹正彦
西浦町 尾崎裕己
西浦町 亀谷スズヨ
大塚町 小林眞悟
形原町 戸田伊織
平田町 松本光男
三谷町 三浦定枝
豊岡町 道下紗南
おめでとーございます。賞品
は3月初旬に発送します。